

もの忘れ

守城

床の間の隅に置かれた  
ゴミのような おもちゃのような  
陶器の置物二つ 忘れもの  
中穴があいていて赤い紐が通っている  
掛け軸に下げるものだったと気付くには  
しばらく時間がかかった  
だが何と行ったか思いだせない

絵図おろし 意味は近いが違う  
掛け軸錘り 意味はかなり近いが違う  
○○ちんと言ったはずだ  
ワンフーチン（王府井）ではないが  
○○ちん 近そうな言葉をめぐる  
文鎮 かなり近いのだが でも違う  
とうとう 風 にはめぐりあたらず  
鬱陶しくなってきた  
刺さったとげを抜くように  
書画骨董の品々をあたって見た  
やっと 風鎮 にたどり着いた

それにしても なんて見事な言葉か  
風鈴や風鎮祭はあれど  
風の鎮めを物象化した  
絶妙な漢字の風雅の技は  
日本の国語学者に違いない  
この言葉 決して忘れてはならぬぞよ  
心の風鎮を忘れていたのは私

いまその風鎮は引越した我が家の  
床の間の煤けた掛け軸の下の両脇に  
錘としてよりも飾りとして  
けだるそうにぶら下がっている